

京都市の歩み

京都市の誕生

明治22（1889）年4月1日、日本で初めて市制が実施され、全国で31の市が誕生し、その年のうちに39市となりました。このうち、国家的に重要な立場にあった東京市、大阪市、京都市の3大都市には「市制特例」が適用され、市長は府知事が兼任し、職務は府の官吏が代行していました。

このように自治を制限された状態に対し、3大都市の市民の間で特例廃止運動が起こり、約10年後の明治31（1898）年9月末に特例が廃止されました。こうして翌10月1日、京都市も一般都市と同じ市制を施行することになりました。これが京都市の誕生です。

行政区の変遷

市制施行以降の編入区域及び新設を表しています。

市制施行時の京都市（明治22年12月1日時点）
人口：279,165人
面積：29.77km ²
行政区：上京区、下京区

